

資料2 仮想専用ネットワーク(VPN)の概要について

1 仮想専用ネットワーク(VPN)とは

仮想専用ネットワーク、Virtual Private Network(以下、「VPN」という。)は、公衆回線を使って仮想のプライベート・ネットワークを可能にする技術です。今回の導入に伴う想定では、田無庁舎にある教育サーバー室と外部データセンターを専用線をつなぐかわりに、仮想的な専用ネットワークとして利用します。

2 導入する仮想専用ネットワーク(VPN)について

今回導入する VPN については、拠点間を通信事業者の閉域ネットワークを用いる「IP-VPN (閉域 VPN)」となっています。契約者同士が利用できる閉ざされたネットワーク回線を利用するため、一般的に利用されるインターネット VPN に比べて、セキュリティ面において信頼度が高く、情報漏洩や盗聴に対して堅牢なネットワークです。

3 導入する仮想専用ネットワーク(VPN)のセキュリティ対策について

専用ネットワークとして接続するために、両拠点に VPN 専用装置を設置しつつ、VPN グループ ID、パスワード及び回線認証、LAN 側 IP アドレス情報を用い、相互に接続を確立する際に、必ず全ての要素を突合し、合致して初めて通信が可能となる仕組みにより、セキュリティの高い通信が可能となっています。

※認証の詳細な仕組みについては、通信事業者のセキュリティ上の理由により非公開となっています。

4 ネットワーク概略

